

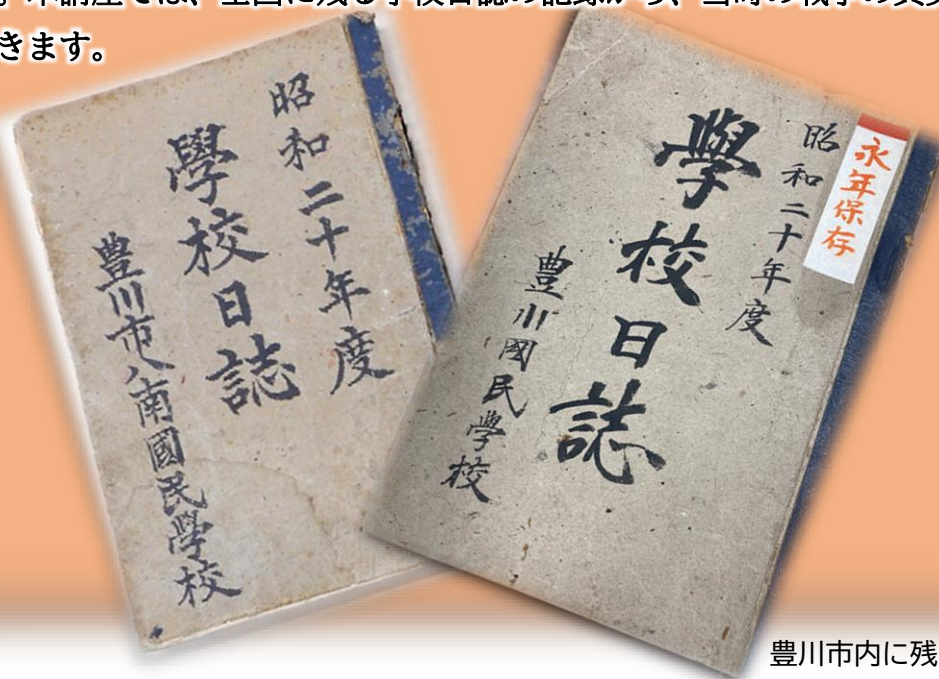
学校日誌に見る戦争の真実

講師：斉藤 利彦氏(学習院大学 名誉教授)

太平洋戦争末期、戦況が悪化する中で学校の疎開工場化や、軍需工場等に学徒が動員されるなど、学校も戦争に大きく巻き込まれていきました。

当時の日々の記録が記されている学校日誌からは、学徒の派遣や訓練の様子をはじめ、空襲警報時の緊迫した様子が伝わってきます。

しかし、戦後80年以上が経過し、残されている学校日誌も少なくなっています。本講座では、全国に残る学校日誌の記録から、当時の戦争の真実を見ていきます。



豊川市内に残る学校日誌

◆期 日：令和8年(2026年)9月12日(土)

- ◆ 時 間 13:30～(1時間30分程度)
- ◆ 会 場 豊川市平和交流館(豊川海軍工廠平和公園内)ガイダンス室
〒442-0061 豊川市穂ノ原三丁目13-2
- ◆ 定 員 50名(先着順)
- ◆ 受講料 無 料
- ◆ 申し込み 8月12日(水)から、豊川市平和交流館(0533-95-3069)にて、
午前9時より先着順に電話受付します。

主催 豊川市教育委員会生涯学習課